臨床研究「慢性心不全患者のフレイル実態調査」について

筑波大学附属病院リハビリテーション部では、標題の臨床研究を実施しております。
本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

近年、高齢心不全患者さんは増加傾向であり、なかでも身体的フレイル（虚弱）を伴う割合は65歳以上の患者さんでは約50%にのぼるといわれています。フレイルは予後にも影響する重大な要因であるため身体機能の改善を目的とした理学療法は極めて重要になります。
これまで心不全患者さんのフレイルの割合や心不全患者さんの身体機能の推移に関する研究報告は散見するものの単施設で、かつ少数のデータにとどまっていましたが、今後は全国規模での大規模なデータ収集および解析をすることが必要となってきます。そこで日本心血管理学療法学会を中心に下記の3点を当面の目標とした全国多施設での研究を実施いたします。

（１）循環器理学療法を受ける心不全患者さんのフレイル有病率を明らかにする。
（２）入院前の身体機能まで回復しないまま退院する心不全患者さんの割合を明らかにする。
（３）高齢心不全患者さんの予後とその関連因子を調査する。

② 研究対象者

倫理審査委員会承認後から2022年3月31日までに当院で心不全治療を受けた65歳以上の患者さん

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2023年3月31日まで

④ 研究の方法

入院後、診療・治療上の検査・測定や問診によって得られた患者さんの各種データを収集し、データ登録を行います。

⑤ 試料・情報の項目（具体的に記載すること）

患者さんの年齢、性別、身体計測、介護保険認定、家族状況や診断名（重症度）、既往歴、心臓超音波検査、血液データ、治療方法、治療経過、リハビリテーション評価結果、転帰先、死亡の有無と生存日数、再入院・再発の有無と日時、外来理学療法の有無など

⑥ 試料・情報の第三者への提供について（該当する場合は記載）

当院で収集されたデータは、電子ファイルと外付けハードディスクに２重パスワードをかけた

うえで、研究代表施設である順天堂大学大学保健医療学部理学療法学科に郵便局の追跡情報が確認できる「レターパック」を用いて運搬します。

⑦　試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学附属病院　リハビリテーション部　部長　羽田康司　医師

⑧　研究機関名および研究責任者名

【当院における責任者】

筑波大学附属病院　リハビリテーション部　部長　羽田康司　医師

【研究代表施設および責任者】

順天堂大学保健医療学部　理学療法学科　教授　高橋哲也

⑨　本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩　問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576　茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：リハビリテーション部　　担当 近野宏知

電話：029-853-3795（直通）　平日 9～17 時